

**AMENDMENT TRANSMITTAL LETTER**

Docket Number

FUM-03601

Application Number

10/022,629

Filing Date

December 17, 2001

Examiner

HSIA, Sherrie Y.

Group Art Unit

2614

Invention Title

TELECINE DISPLAY DEVICE AND TELECINE DISPLAY METHOD

TO THE COMMISSIONER FOR PATENTS

Transmitted herewith is an amendment in the above-identified application, including:

- (X) Preliminary Amendment;
- (X) Request for Continued Examination (in duplicate) and check for \$770.00;
- (X) Information Disclosure Statement (in duplicate);
- (X) Form 1449;
- (X) Copies of References Cited in IDS;
- (X) Copy of Japanese Office Action and Partial English Translation; and
- (X) Postcard Receipt.

**CLAIMS AS AMENDED**

(1)			(2)		(3)	
	CLAIMS REMAINING AFTER AMENDMENT		HIGHEST NUMBER PREVIOUSLY PAID FOR	PRESENT NUMBER EXTRA	RATE	FEE
TOTAL CLAIMS	2	Minus	20	0	x \$18	\$0
INDEPENDENT CLAIMS	1	Minus	3	0	x \$86	\$0
MULTIPLE DEPENDENT CLAIM ADDED					\$290	
					TOTAL	\$0
If applicant has small entity status under 37 CFR 1.9 and 1.27, then divide total fee by 2, and enter amount here.				SMALL ENTITY TOTAL		\$

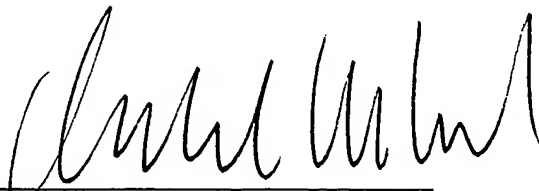
\* If the entry in column 1 is less than the entry in column 2, write "0" in column 3.

\*\* If the highest number previously paid for IN THIS SPACE is less than 20, enter "20."

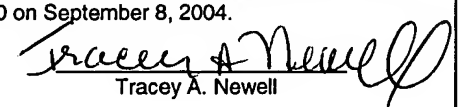
\*\*\* If the highest number previously paid for IN THIS SPACE is less than 3, enter "3."

The "highest number previously paid for" (total or independent) is the highest number found in the appropriate box in column 1.

- ( ) Please charge **Deposit Account Number 03-1721** in the amount of \$\_\_\_\_\_. A duplicate copy of this sheet is enclosed.
- ( ) A check in the amount of \$\_\_\_\_\_ to cover the filing fee,
- (X) Please credit any overpayment and/or charge any additional filing fees required under 37 CFR §§ 1.16 and 1.17 to our **Deposit Account Number 03-1721**. A duplicate copy of this sheet is enclosed.

  
Donald W. Muirhead, Reg. No. 33,978September 8, 2004  
Date

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first class mail in an envelope addressed to: Mail Stop RCE, Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450 on September 8, 2004.

  
Tracey A. Newell

Claims 1, 2, 5 and 6: Cited Example 1 is cited.

Remarks:

Claims 1, 2, 5 and 6: There is no difference from the invention in Cited Example 1.

Remarks:

Claim 3: Cited Example 2 is cited.

Remarks:

Claim 3: There is no difference from [the invention in] Cited Example 2.

*[Text omitted – Translator.]*

Claim 1 through Claim 6: Cited Example 1 and Cited Example 2 are cited in combination.

Claim 1 through Claim 6: When the two cited examples are considered together, it is recognized that the invention described in each of the claims could appropriately be envisioned by a person skilled in the art.

*[Text omitted – Translator.]*

Claim 1 through Claim 6: Cited Example 3 is cited.

(Remarks:)

All of the inventions described in Claim 1 through Claim 6 are described in the inventions in the previous application described in Cited Example 3, and there is no difference.

*[Text omitted – Translator.]*

## Table of Cited References, etc.

Cited Example 1: Japanese Patent Application Kokai No. H11-261927

[Note] the fact that the synchronization processing is independently performed on the input side and output side so that 60 fields (30 frames) of video images obtained by the 2-3 pulldown [processing] of 24 frames of movie film images can be returned to 24 frames (judging from the regularity of the fields) and displayed on a display device such as a plasma display by means of successive scanning.

Cited Example 2: Japanese Patent Application Kokai No. H11-243507

[Note] the fact that when [the system] is devised so that 60 fields (30 frames) of video images obtained by the 2-3 pulldown [processing] of 24 frames of movie film images can be returned to 24 frames (judging from the regularity of the fields) and displayed on a display device such as a plasma display by means of successive scanning, the synchronization processing is independently performed on the input side and output side in order to allow the display at a frame display rate of 72 Hz/96 Hz (integral multiple of the frame rate) in the case of 24 frames.

Cited Example 3: Japanese Patent Application No. 2000-168068 (Japanese Patent Application Kokai No. 2001-346131)

[Note] the fact that when the synchronization processing is independently performed on the input side and output side so that 60 fields (30 frames) of video images obtained by the 2-3 pulldown [processing] of 24 frames of movie film images can be returned to 24 frames (judging from the regularity of the fields) and displayed on a display device such as a plasma display by means of successive scanning, in the case of 24 frames, the synchronization processing is independently performed on the input side and output side so as to allow repetitive display at a frame display rate of 72 Hz/96 Hz that is n times the frame rate.

---

## Record of Results of Survey of Prior Art References

• Field surveyed:           IPC 7<sup>th</sup> Edition           H04N5/222 – 5/257

---

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2000-384357
起案日	平成16年 1月28日
特許庁審査官	山本 章裕 8836 5P00
特許出願人代理人	宇高 克己 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項、第29条の2、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

## 理由の1

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1～請求項2・請求項5～請求項6：引用例1を引用する。

備考

請求項1～請求項2・請求項5～請求項6：引用例1の発明との相違はない。

請求項3：引用例2を引用する。

備考

請求項3：引用例2との相違はない。

## 理由の 2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項 1 ～請求項 6 : 引用例 1 及び引用例 2 を合わせて引用する。

請求項 1 ～請求項 6 : 2 つの引用例を合わせ考慮すれば、各請求項記載発明とも当業者が適宜想到し得たものと認める。

## 理由の 3

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願の日前の特許（実用新案登録）出願であって、その出願後に出願公告（特許掲載公報の発行又は実用新案掲載公報の発行）又は出願公開がされた下記の特許（実用新案登録）出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明（考案）と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許（実用新案登録）出願に係る上記の発明（考案）をした者と同一ではなく、またこの出願の時に於いて、その出願人が上記特許（実用新案登録）出願の出願人と同一でもないのに、特許法第 29 条の 2 の規定により、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項 1 ～請求項 6 : 引用例 3 を引用する。

(備考)

請求項 1 ～請求項 6 記載の発明は、引用例 3 記載の先願発明にすべて記載されており相違する点はない。

## 理由の 4

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

## 記

1：請求項1に「フィルムソースの2－3プルダウン処理において、入力側は、入力信号に同期した動作を行い、処理後の出力側は、独立した同期処理によって信号を出力することを特徴とする、出力装置。」とあるが、この出力装置は、出力装置が行う処理内容が何も特定されていなく、単に信号のデータ内容すなわちフィルムの24コマをビデオの60フィールド／30フレームに2－3プルダウンされた入力信号のデータ内容はそのまま入力時の同期信号とは別の同期信号に同期信号を変換して出力するとしか読みとれないが、本願発明がこのような発明であることの記載は明細書には記載されていなく、発明が明確でない。

2：請求項2に「2－3プルダウン処理において、その映像出力を、フィルムソースの原画像のリフレッシュレートで出力することが可能となることを特徴とする出力装置。」とあるが、この出力装置は、出力装置が行う処理内容が何も特定されていなく、単に信号のデータ内容すなわちフィルムの24コマをビデオの60フィールド／30フレームに2－3プルダウンされた入力信号のデータ内容はそのまま入力時の同期信号とは別の同期信号であるフィルムソースのリフレッシュレートに変換して出力するとしか読みとれないが、本願発明がこのような発明であることの記載は明細書には記載されていなく、発明が明確でない。

3：請求項3に「出力側の同期処理のリフレッシュレートを、フィルムソースの原画像における単位時間当たりのコマ数の整数倍に設定することが出来ることを特徴とする出力装置。」とあるが、この出力装置は、出力装置が行う処理内容が何も特定されていなく、単に信号のデータ内容すなわちフィルムの24コマをビデオの60フィールド／30フレームに2－3プルダウンされた入力信号のデータ内容はそのまま入力時の同期信号とは別の同期信号であるフィルムソースのコマ数の整数倍に変換して出力するとしか読みとれないが、本願発明がこのような発明であることの記載は明細書には記載されていなく、発明が明確でない。

4：請求項4～請求項6も上記1：～3：の指摘観点と同じ観点で発明が明確でない。

5：請求項4に「前述の」とあるが、この用語は、請求項4のその用語までの記載のいずれの記載を引用しているのかが明確でない。（仮に請求項3の記載を引用しているとすれば、請求項4は請求項3を引用する発明ではないのでこの記載は認められない。）

6：請求項5に「原映像信号をデジタル化するA/D変換回路と、テレシネ信号であることを判定するテレシネ判定回路と、2－3プルダウン変換回路と、サブフィールド展開回路と、プラズマモジュールと、前記原映像信号の同期に基づいて所要タイミング信号を発生する第1の同期処理回路と、を有するプラズマディスプレイ装置において、テレシネ化された信号に対する原映像信号の同期に基づいて各種タイミング信号を発生する第2の同期処理回路を付加し、プルダウンに際しては前記第1の同期処理装置によるタイミング信号で、そして、プラズマモジュールへの出力には前記第2の同期処理装置の発生するタイミング信号で作動せしめることを特徴とする出力装置。」とあるが、

- (1) 「プラズマモジュール」という用語の技術的定義が明確でない
- (2) 「プラズマディスプレイ装置において」という前提を表す構成記載と発明の末尾の「出力装置」という発明とは、どの様に相違若しくは一致するのかが不明である。

7：請求項6に「前記第1の同期処理装置」とあるが、この用語は、請求項6のその用語までの記載のいずれの記載を引用しているのかが明確でない。（仮に請求項5の記載を引用しているとすれば、請求項6は請求項5を引用する発明ではないのでこの記載は認められない。）

4：請求項5および【0023】に「プラズマモジュール」、請求項4および【0024】に「プラズマディスプレイモジュール」とあるが、

- (1) どの様に相違するのかが明確でない。
- (2) 「プラズマディスプレイ装置」とこのモジュールの関係も不明である。

よって、請求項1～6に係る発明は明確でない。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

#### 引用文献等一覧

引用例1：特開平11-261927号公報

24コマの映画フィルム画像を2－3プルダウンして得た60フィールドかつ30フレームのビデオ画像を、そのフィールドの規則性から判断して24フレームに戻しかつ順次走査でプラズマディスプレイ等の表示器に表示できるように、入力側と出力側の同期処理を独立して行う点。

引用例2:特開平11-243507号公報

24コマの映画フィルム画像を2-3プルダウンして得た60フィールドかつ30フレームのビデオ画像を、そのフィールドの規則性から判断して24フレームに戻しかつ順次走査でプラズマディスプレイ等の表示器に表示できるようにする際、24フレームの場合はフレーム率の整数倍の72HZ/96HZの表示フレーム率で表示するように、入力側と出力側の同期処理を独立して行う点。

引用例3:特願2000-168068号(特開2001-346131号)

24コマの映画フィルム画像を2-3プルダウンして得た60フィールドかつ30フレームのビデオ画像を、そのフィールドの規則性から判断して24フレームに戻しかつ順次走査でプラズマディスプレイ等の表示器に表示できるように、入力側と出力側の同期処理を独立して行う際、24フレームの場合はフレーム率のn倍の72HZ/96HZの表示フレーム率で繰り返し表示するように、入力側と出力側の同期処理を独立して行う点。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 H04N5/222-5/257

この拒絶理由通知書の内容に関するお問い合わせがございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 プロジェクト室 山本章裕

TEL. 03(3581)1101 内線 3502 FAX. 03(3501)0699